

終末期医療 家族で話し合おう

(医師 笠間 睦 津市 51歳)

終末期状態になった場合、どのような医療を希望するのか、事前に指定書の記載があれば医療機関側も判断に迷うことは少ないが、現実には事前に記入されている方はごく一部です。

私が勤務している病院では一般病床での治療を終えて状態が落ち着くと療養病床に移ります。一般病床入院時に、終末期に陥った場合の意向を聞いていますが、本年4月以降、療養病床に移った時点で再度意向をお聞きし、入院時と変化がないか確認してきました。

今月10日時点で、16人から回答を得ています。終末期に対する意向は、変化のなかった方が8人、当初希望されていた心肺蘇生を希望されなくなった方が5人、逆に希望されていなかった心肺蘇生を希望するようになった方が3名でした。折に触れてこまやかに意向を確認する必要があることを感じています。

この機会に、一度ご家族でゆっくりと、終末期医療に関して話し合ってみてはいかがでしょうか。

【平成22年8月16日 朝日新聞・名古屋本社版「声」】

8月11日に投稿した原文は以下です。

582文字で一応投稿規定内の文字数でしたが、「経管栄養に関する意向調査」・「私の四つのお願い」の紹介は載りませんでした。

特に、「経管栄養に関する意向変化」は重要な部分ですので、また折に触れて紹介したいと考えております。

タイトル：

終末期医療における事前指定書と意向の変化

本文：

終末期状態に陥った場合、どのような医療を希望するのか、事前の指定書の記載が存在すれば、医療機関側も判断に迷うことは少ないが、現実には、事前指定書を記載されている方はごく一部です。

私が勤務している病院には、一般病床と療養病床があります。一般病床での治療を終えて状態が落ち着くと療養病床に移ります。一般病床入院時に、終末期に陥った場合の意向を聞いていますが、本年4月以降、療養病床に移った時点で再度意向をお聞きし、入院時の意向と変化がないか確認してきました。

8月10日時点で16名から回答を得ています。終末期に対する意向は、変化のなかった方が8名、入院当初希望されていた心肺蘇生を希望されなくなった方が5名、逆に入院当初希望されていなかった心肺蘇生を希望するようになった方が3名でした。病状の変化によって意向は変化しうるものであるという前提に立って、折に触れてきめ細やかに意向を確認する必要があると感じています。

また、経管栄養に関する意向調査も行っていますが、経管栄養を既に実施中にも関わらず、「して欲しくない」と回答されているご家族が3名おられました。

『私の四つのお願い』は、枠内に○をするか、×をするだけ、あるいは数行の文章を書くだけの事前指定書で使い勝手が良いです。この機会に、一度ご家族でゆっくりと、終末期医療に関して話し合ってみてはいかがでしょうか。